

## 2022年度 学校評価公表シート

安田幼稚園安東園舎

### 1. 園の教育目標

人間形成の基盤が培われる大切な幼児期に、一人の人間として自立して生きられるよう、大切なことはきちんと教えたい。学園創設以来、守られてきた学園訓「柔しく 剛く」の建学の精神のもと、「やさしい心 たくましい力」をもった子どもの育成に努めることを教育方針とし、次のような子ども像を教育目標として掲げている。

○自分のことが自分でできる子ども

○友達と仲良くできる子ども

○元気でやる気のある子ども

教育の柱として以下の3つの項目をあげる。

1. 自分が好き（挨拶や片付けなど基本的な生活習慣の定着と聞く・話す・考える・表現するなど自信をもって行動していく力を育む）
2. 友達が好き（友達によさに気づき、協同・協調する力を伸ばし、集団の中で約束を守る態度を育む）
3. 自然が好き（頭と身体を存分に使って遊び、丈夫な身体と強い心、自然の恵みに感謝する心、感動する心を育む）

### 2. 園の教育目標 重点目標とその設定理由

重点目標を

「意欲的に環境に関わり、頭と体を存分に使って遊ぶ子どもの育成」～環境に主体的に関わるための保育の充実を考える～とした。子どもたちが園にある環境に主体的に取り組むためには教師がどうかかわっていくか、また、園にある環境をどのようにいかしていくかを考えていきたいという思いで設定した。

本園の3つの教育の柱として掲げている自分が好き・友達が好き・自然が好きから1項目ずつ重点を置き、取り組んだ。三学年を通して段階を追って考えられるもの、経験の積み重ねが目標の姿へつながることを意識して定めた。また、各学年で目指す子ども像や具体的に取り組む事項を定め、日々の生活の中でより意識できるようにした。

3つの柱の内容の重点項目を、子どもの姿から今年度は以下の通りに決めた。

「自分が好き」…「食事のマナー」について

「友達が好き」…「友達との関わり」について

「自然が好き」…「戸外で体を動かして遊ぶ」について

3. 2022年度保護者アンケート結果（全体）

204件／ 205人 回収率100%  
 (年少 72件・年中 67件・年長 65件)

幼稚園の指導に関する質問事項		保護者の評価			
		4…あてはまる	3…ややあてはまる	2…あまりあてはまらない	1…全くあてはまらない
1	(年少) 食事の仕方が分かり落ち着いて食事をするような指導が行われている	65件	7件	0件	0件
	(年中) マナーを意識し、落ち着いて食事をする指導が行われている	50件	15件	2件	0件
	(年長) 周りの人と気持ちよく食事をするマナーを身に着ける指導が行われている	49件	16件	0件	0件
2	(年少) クラスの友達に親しみをもち一緒に遊ぶような指導が行われている	67件	5件	0件	0件
	(年中) いろいろな友達と触れ合えるような遊びの提供をしている	59件	8件	0件	0件
	(年長) 友達を思いやる姿を認めたり良さを伝え合ったりする指導が行われている	58件	7件	0件	0件
3	(年少) 先生や友達と一緒に戸外で遊ぶような指導が行われている	68件	4件	0件	0件
	(年中) 戸外で体を動かして遊ぶ指導が行われている	60件	7件	0件	0件
	(年長) 戸外で体を十分に動かして遊ぶ指導が行われている	60件	5件	0件	0件
幼稚園の取り組みに関する質問事項					
4	教員は一人一人の発達を理解し、それにあった対応をしている	少：66件	少：5件	少：1件	少：0件
		中：54件	中：13件	中：0件	中：0件
		長：56件	長：9件	長：0件	長：0件
5	教職員は、保護者の話を丁寧に聞いたり、相談にのったりする等の対応をしている	少：69件	少：3件	少：0件	少：0件
		中：52件	中：15件	中：0件	中：0件
		長：60件	長：4件	長：1件	長：0件
6	保育だよりやクラスだよりを通して今年度の重点目標やそれに関する園児の様子を伝えている	少：70件	少：2件	少：0件	少：0件
		中：56件	中：11件	中：0件	中：0件
		長：57件	長：7件	長：1件	長：0件
7	園の環境（園庭、探索道など）を生かす保育をしている	少：70件	少：2件	少：0件	少：0件
		中：61件	中：6件	中：0件	中：0件
		長：59件	長：6件	長：0件	長：0件

※保護者アンケートを基に、1年間の幼稚園の取り組み（具体的な手立て・環境構成や教員の援助など）による子どもたちの育ちについて評価した「自園評価」も合わせて公表しています。  
 結果は次頁のとおりです。

4. 学校評価 結果

評価の仕方…保護者の評価：保護者アンケートの評価（4から1まで）を平均にしたもの

自園の評価：各クラス・学年で成果が見られた子どもの割合を示し、以下で照らし合わせ表記した

※80%以上…4、60%～79%…3、40%～59%…2、40%未満…1

幼稚園の指導に関する評価項目		保護者の評価			園の評価	
		学年	全学年	学年	全学年	
1	(年少) 食事の仕方が分かり落ち着いて食事をするような指導が行われている	少	3.9	3.8	4	3.3
	(年中) マナーを意識し、落ち着いて食事をする指導が行われている	中	3.7		3	
	(年長) 周りの人と気持ちよく食事をするマナーを身に着ける指導が行われている	長	3.8		3	
2	(年少) クラスの友達に親しみをもち一緒に遊ぶような指導が行われている	少	3.9	3.9	4	3.7
	(年中) いろいろな友達と触れ合えるような遊びの提供をしている	中	3.9		4	
	(年長) 友達を思いやる姿を認めたり良さを伝え合ったりする指導が行われている	長	3.9		3	
3	(年少) 先生や友達と一緒に戸外で遊ぶような指導が行われている	少	3.9	3.9	4	4
	(年中) 戸外で体を動かして遊ぶ指導が行われている	中	3.9		4	
	(年長) 戸外で体を十分に動かして遊ぶ指導が行われている	長	3.9		4	

幼稚園の取り組みに関する質問事項		保護者の評価			園の評価	
		学年	全学年	学年	全学年	
4	教員は一人一人の発達を理解し、それにあつた対応をしている	少	3.9	3.9	4	4
		中	3.8		4	
		長	3.9		4	
5	教職員は、保護者の話を丁寧に聞いたり、相談にのったりする等の対応をしている	少	4.0	3.9	3	3
		中	3.8		3	
		長	3.9		3	
6	保育だよりやクラスだよりを通して今年度の重点目標やそれに関する園児の様子を伝えている	少	4.0	3.8	3	3.3
		中	3.7		3	
		長	3.7		4	
7	園の環境（園庭、探索道など）を生かす保育をしている	少	4.0	3.9	4	4
		中	3.9		4	
		長	3.9		4	
保護者への対応・園での教育について					園の評価	
園での教育について	園全体で子どもたち一人一人の把握に努める	○教員間で子ども理解を深めるようミーティングをする			3	

## 5. 考察と今後の課題

### ○自分が好き

「食事のマナー」については、落ち着いて食事ができるよう、食事のマナーを知らせたり、意識したりできるような援助など学年に応じた取り組みを行った。具体的に良い姿勢や箸の持ち方などの食事中に必要なマナーを知らせたり、視覚教材を見ながら一緒に考える時間を設けたりしながら関わった。また、食事中にも必要に応じて個々に合わせた援助を繰り返し行った。その結果、個人差はあるが、姿勢を意識して食事しようとする姿が見られるようになった。落ち着いて食事をするようになったが、食事時間が長くなると姿勢を最後まで持続することが難しい姿も見られた。

今年度は生活カレンダーが学校評価とつながっており、家庭と園とで継続して取り組むことで、意識するようになり成果に繋がった。また、取り組みの中で、家庭での協力や励ましが子どもたちの姿に反映され、家庭との連携の大切さを感じた。生活カレンダーの約束がクラスの子どもの実態と合うように、月によって約束をより具体的に伝えていくことも必要だったと感じている。保護者からはおおむね肯定的な評価をいただいた。継続して意識が向くよう、引き続き、取り組んでいきたい。

### ○友達が好き

「友達との関わり」については、クラスの友達に親しみをもったり良さに気づいたりできるように、日々の生活の中で友達と関わる姿をとりあげ、教師が積極的に話題にしたり、褒めたりするなど、学年に応じた取り組みを行った。関わりに必要な言葉を伝えたり、クラスの友達と関わりが深まるような活動を年間を通して設けたりした。また、友達と関わる中で、思いを伝えあったり、折り合いをつけたりできるよう友達の良さを知り、親しみをもてるような活動を多く取り入れた。その結果、気の合う友達が見つかったり、思いを共有したり、互いに認め合いながら過ごす姿が見られるようになった。保護者からはおおむね肯定的な評価をいただいた。しかし、保護者にとってわかりにくい見えにくい項目であると感じたので、クラスだよりやブログなどで引き続き発信していきたい。

### ○自然が好き

「戸外で身体を動かして遊ぶ」については、各学年で運動遊びや体を動かす集団遊びなどを、一斉活動で取り入れきっかけを作ったり、好きな遊びで誘ったりし、体を動かして遊ぶことの楽しさを感じられるよう取り組んできた。年少組では先生と一緒に取り組むことを意識し、年中・年長組では個人の運動遊びとともに友達とルールのある遊びが楽しめるように意識した。また、子どもたちが意欲的に戸外遊びや運動遊びに取り組めるように、やってみようカードやワクワクカードなどを取り入れたり、教師も積極的にルールのある遊びに参加したりした結果、成果が見られ保護者からはおおむね肯定的な評価をいただいた。しかし、戸外遊びや運動遊びに対し、苦手意識がある子どももいるため、今後も個人差に合わせた個別での誘い掛けや関わりを大切にしたい。また芝滑りや探索道なども有効的に活用していきたい。

### ○幼稚園の取り組みに関することについて

コロナ感染防止の措置が少しずつ緩和される社会の状況に合わせて、子どもたちの様子を見ていただける機会をつくっていった。また、園としての取り組みを検討し工夫しながら行い、育てたい事が経験できるように努めた。何を大切に育てたいか、園の取り組みをどう伝え理解していただくかを教職員一同改めて考えていった。

幼稚園の取り組みに関する質問事項では多くの保護者の方から3・4の高評価をいただいたが、4・5・6の項目では2の評価が含まれた。実際に園生活を見ていただく機会が少なかったことや、子どもたちの様子を伝えられなかったことが原因と考える。行事や日々の様子をHPや保育だより、クラスだよりなどで発信する中で、重点目標の取り組みが園生活の楽しさと共に発信できるよう引き続き努めていきたい。また保護者の方とコミュニケーションをしっかりととり、安心してお子様を幼稚園に預けていただけるよう全職員で努力し、共に悩み、考え、子どもたちの成長を喜び合える関係を築いていきたい。

今年度も保護者の温かいご理解ご協力のもと、保育を行うことができた。来年度も今年度同様、保護者と同じ観点で子どもの成長を援助していく保育を行っていきたい。

今年度のアンケートの結果を踏まえ、これからも本園の教育を真摯に進めてまいります。